

## 目標達成計画

作成日：平成 22年 7月 23日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	非常災害時の避難・誘導訓練は全職員が共に協力体制をとり進めているが、訓練や誘導時の様子や指導内容が記録として残せていないとともに地域との連携体制も構築されていない。	・災害時の避難・訓練誘導時には、その時の様子や消防職員からの指導内容を記録として残す。 ・地域の連携に関しては地域の皆様に負担をかけないようにしながら連携と取ることで進める。	災害・避難訓練記録用紙を作成し、訓練時の主となった職員が記録を作成するようにし、全職員で振り返り反省する時間をとった。災害時などの危機管理対策のために、地元地域の全世帯へ危機管理対策についてのお願いのお知らせ文と自治会長より配布していただいた。	3ヶ月
2	36	個々に対してのプライバシーや人格を尊重した言葉掛けや支援は出来ているが、それを記録した個人のカルテの保管場所が利用者や外部から見えやすい場所で保管している。	カルテの保管場所を利用者や外部から目の届かない場所で保管すると共に、カルテの提示を求められればすぐに出せるようにする。	全職員で個人カルテの保管場所をどこにするかや、管理方法や保管場所の鍵の扱いを責任を持って行うように話し合いをした。	1ヶ月
3	9	契約の締結・解約・改定などの際は理解と納得を得られているが、契約時に将来的に起こりうる重度化・終末期に対する介護方針について施設内で対応出来る範囲を広げすぎており明確に出来ていない。	家族への心の負担にならないように、言葉に気をつけながら利用者の日々の状態を連絡したり、将来的に起こりうる事を伝えていく。今後契約時には急性期・重度化・終末期ケア対応指針を施設で対応出来る範囲へ変更していく。	現時点で改定は出来にくい各利用者の担当職員が一ヶ月ごとに利用者の状態や行事での様子を手紙で報告したり、急変時や少し様子がいつもと違う時には管理者が家族に電話連絡し伝える方針を再確認した。面会に来られた時にも日々の様子を家族に知らせる。	1年～
4	7	身体的な虐待に関しては全職員が十分理解できているが、言葉や精神的に虐待となる事に関してはまだまだ理解を深める必要がある。具体的な事例をあげて検討する。	全職員が利用者に温かさや優しさを感じてもらえる言葉かけをすると共に言葉一つで精神的にストレスを感じたり虐待となる事を再理解するよう研修会を開催する。	言葉による虐待について職場内研修を開いた。職員の言葉一つで施設での生活が楽しいと感じてもらえることを意識して言葉遣いに気をつけ支援をする。	3ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。